

今回のリサーチの目的が情報関係の変化のより音楽の視聴形態が多様化する中で、私たち大学世代が実際どのように音楽を視聴しているのかを知ることである。まだ、留学生の自分として、調査をしながらより今日本の若者の生活を理解できると思いました。

今回私がまとめたのは、調査方法、音楽について、新しい情報を得るところと音楽をどのように、あるいはどこで聴いてますかの三つの質問でした。

調査方法としては、クラスの53名の学生にアンケートを配り、回答を書いてもらいました。残念なのは、今回53名の中で、留学生は僅か7名でした。もう少し留学生の情報が多いなら、より比較的何がわかるかなだと考えました。全体的には留学生が自分の国のネットサイトよく使うことがわかりました。

そして、情報を得るところでは一番多かった答えは YouTube でした。その次はストリーミングサービスでした。全部で30人以上の人回答してくれました。中国では YouTube を使えないですが、似ているようなサイトは同じ人気だと思います。まだ友達から聞くという答えも24人ありました。大人数で回答した答えはすべて今の若い人使いそうなものでした。しかし、この中に、少し驚いたのは、ラジオを選ぶ人が23人もいました。現代の若者もうラジオ聴かない傾向があるのに、まさかこんなに多い人ラジオで新しい情報をえています。ほかに気づいたのは、雑誌、新聞、コンビニで情報得るのはまさか一人ずつでした。やはりネット社会入ってきて、紙媒体がどんどんなくなってきましたね。テレビを選んでいる人少ないのも少し驚きました。

次は音楽をどのように聞いている質問に対して、三つの回答が断トツたかいでした。それは、先程の情報を得る場所と同じく、YouTube が一位でした。次は、現在誰でも持っているスマホです。最後はストリーミングサービスです。他には高いのは交通機関とカラオケでした。やはり今回の調査は20歳前後ということで、とても大学生感じらしいです。友達と遊ぶ時間聞いていることが多いです。少し悲しいのは、10年前の時とても人気があった Ipod がまさか5人しか選んでないです。10年でこんなに変わるなんて、時代の進化を感じました。最後、CD を購入して聴く人は、想像外で、17人もありました。回答してくれる人に理由も書いてもらうことになりました。まとめてすると、形として残りたい、特典、收藏する価値があるなどの理由がありました。内容より、CD をついているものに興味あるということがわかりました。

最後に先生からのコメントの中で CD を買うのは日本の特別なところで言われてまして、韓国では本当にコンビニ小さいところしか売っていないそうです。中国でも大体ネット配信をメインでやっています。日本まだこういう風に CD 残っているのはとてもいいことだと思いますが、いつか消滅するのを考えて少し残念な気持ちがありました。でもまだ、CD を買う若者がいることに対して、少し安心という気持ちもありました。

今回の調査で、現代っぽい回答がたくさんありましたが、意外な回答もありました。このように、今回の調査で新しいことを発見するのはとても面白いと思いました。